

第 2 期
広島広域都市圏発展ビジョン

～誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”広島広域都市圏を目指して～

《資料編》

2025 年 3 月改訂
広 島 市

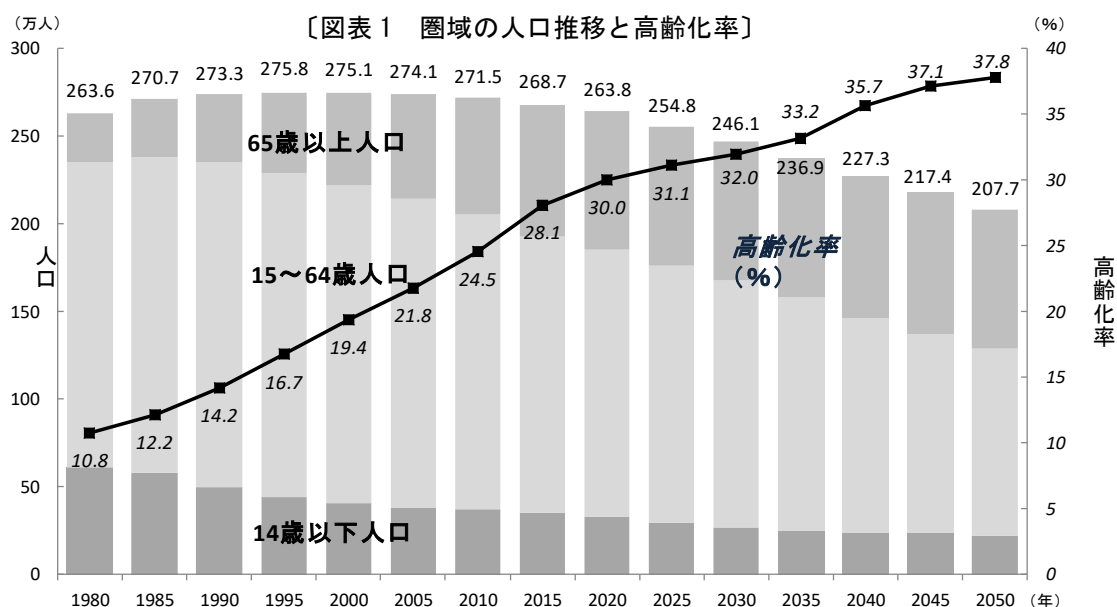
目 次

	頁
I 人口	1
1 人口推移と高齢化率	1
2 人口移動（地域別・年齢別）の状況	2
II 産業構造	3
1 総生産	3
2 経済活動別の総生産	3
3 工業	5
4 農林水産業	7
(1) 農業	7
(2) 林業	8
(3) 水産業	8
5 観光	10
(1) 観光資源	10
(2) 観光客数	11
(3) 外国人観光客	12
(4) 国際会議	12
III 高次都市機能の集積状況	13
1 医療	13
2 広域的な公共交通網等	17
(1) 鉄軌道	18
(2) 路線バス	19
(3) 航路	20
(4) 空港	21
3 高等教育	22

I 人口

1 人口推移と高齢化率

広島広域都市圏の人口は、1995年の約276万人をピークに減少に転じています。「国立社会保障・人口問題研究所」（以下「社人研」という。）が2023年12月に公表した「日本の地域別将来推計人口」によると、2050年には約208万人となり、それ以降も減少すると推計されています。高齢化率は、2020年の30.0%から2050年には37.8%になると推計されています。



資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

〔図表2 構成市町別の現在の人口及び将来推計人口〕

	2020年	2030年	2040年	2050年	増減率(2050年対2020年比)
広島市	1,200,754	1,163,450	1,111,468	1,047,223	△ 12.8
呉市	214,592	180,931	153,064	129,151	△ 39.8
竹原市	23,993	19,265	15,160	11,636	△ 51.5
三原市	90,573	77,379	66,488	56,356	△ 37.8
三次市	50,681	44,370	39,170	33,901	△ 33.1
大竹市	26,319	23,319	20,195	17,250	△ 34.5
東広島市	196,608	196,148	189,501	179,511	△ 8.7
廿日市市	114,173	109,241	101,907	93,945	△ 17.7
安芸高田市	26,448	22,197	18,398	14,775	△ 44.1
江田島市	21,930	17,560	13,543	10,232	△ 53.3
府中町	51,155	49,967	47,274	44,514	△ 13.0
海田町	29,636	28,766	27,183	25,365	△ 14.4
熊野町	22,834	20,225	17,280	14,879	△ 34.8
坂町	12,582	11,725	10,769	9,840	△ 21.8
安芸太田町	5,740	4,443	3,422	2,590	△ 54.9
北広島町	17,763	15,534	13,521	11,575	△ 34.8
大崎上島町	7,158	5,742	4,656	3,905	△ 45.4
世羅町	15,125	12,738	10,664	8,767	△ 42.0
岩国市	129,125	113,227	97,684	83,047	△ 35.7
柳井市	30,799	26,548	22,729	19,224	△ 37.6
周防大島町	14,798	11,383	8,565	6,363	△ 57.0
和木町	6,034	5,536	5,037	4,541	△ 24.7
上関町	2,342	1,757	1,293	956	△ 59.2
田布施町	14,483	12,354	10,598	8,918	△ 38.4
平生町	11,914	10,078	8,362	6,667	△ 44.0
浜田市	54,592	47,244	41,563	36,252	△ 33.6
出雲市	172,775	166,781	159,477	150,468	△ 12.9
益田市	45,003	39,285	33,848	28,780	△ 36.0
飯南町	4,577	3,791	3,149	2,576	△ 43.7
川本町	3,248	2,667	2,242	1,927	△ 40.7
美郷町	4,355	3,430	2,780	2,253	△ 48.3
邑南町	10,163	8,479	7,185	6,043	△ 40.5
吉賀町	6,077	5,280	4,545	3,891	△ 36.0
広島広域都市圏	2,638,349	2,460,840	2,272,720	2,077,321	△ 21.3

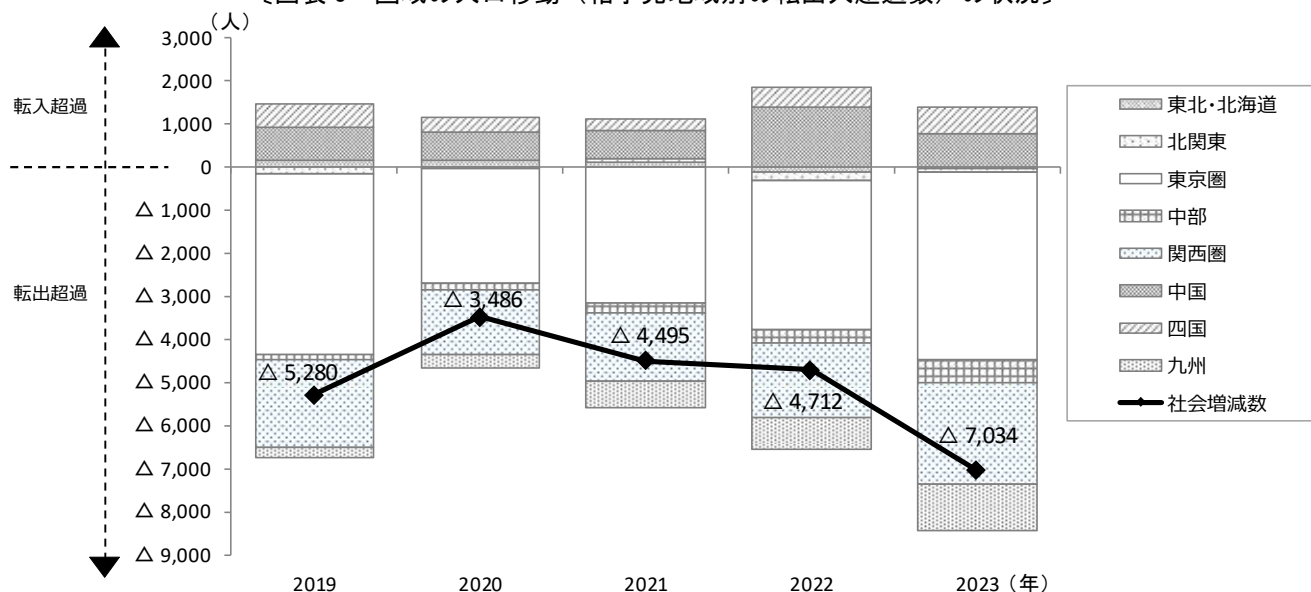
資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

2 人口移動（地域別・年齢別）の状況

広島広域都市圏の人口移動（相手先地域別の転出入超過数）の状況を見ると、中四国地域では転入超過（転入者が転出者を上回っている状態）となっているものの、東京圏・関西圏では転出超過（転出者数が転入者数を上回っている状態）となっており、全体として転出が転入を上回る結果（社会減）となっています。

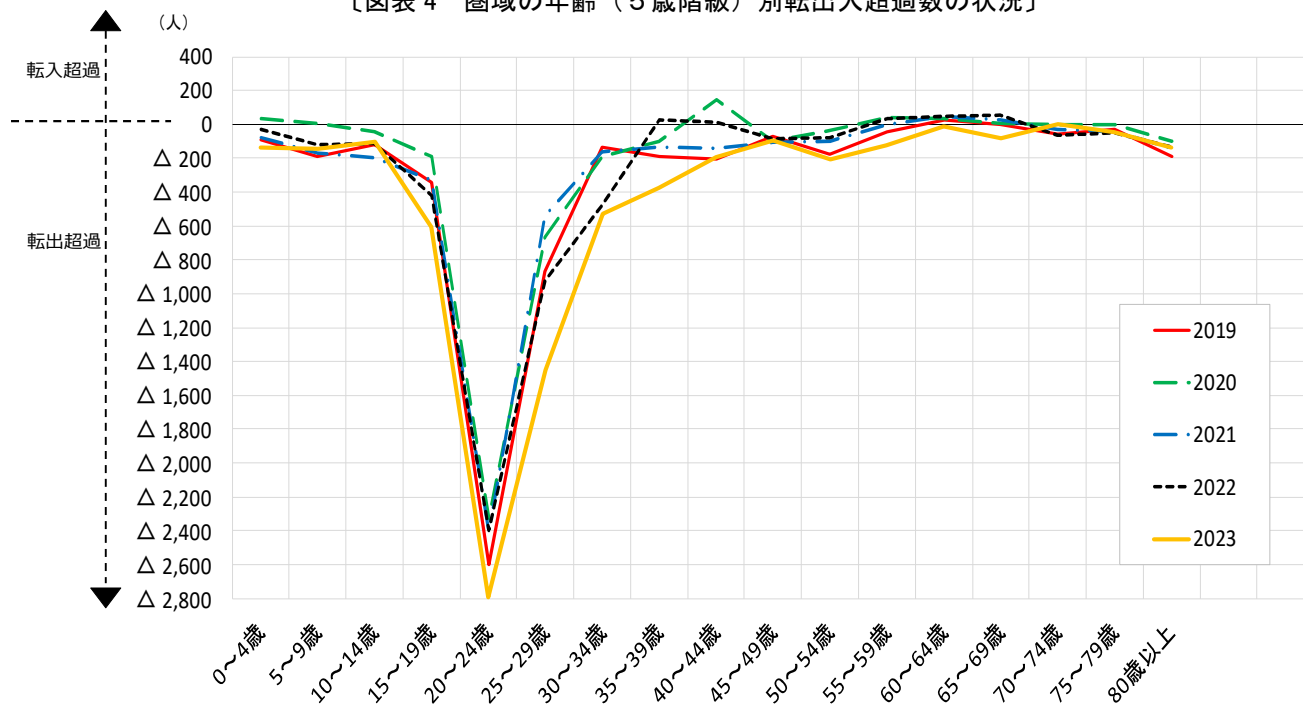
また、広島広域都市圏の年齢別転出入超過数の状況を見ると、就職に当たる年代（20～24歳）の転出超過が極めて多くなっています。

〔図表3 圏域の人口移動（相手先地域別の転出入超過数）の状況〕



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

〔図表4 圏域の年齢（5歳階級）別転出入超過数の状況〕



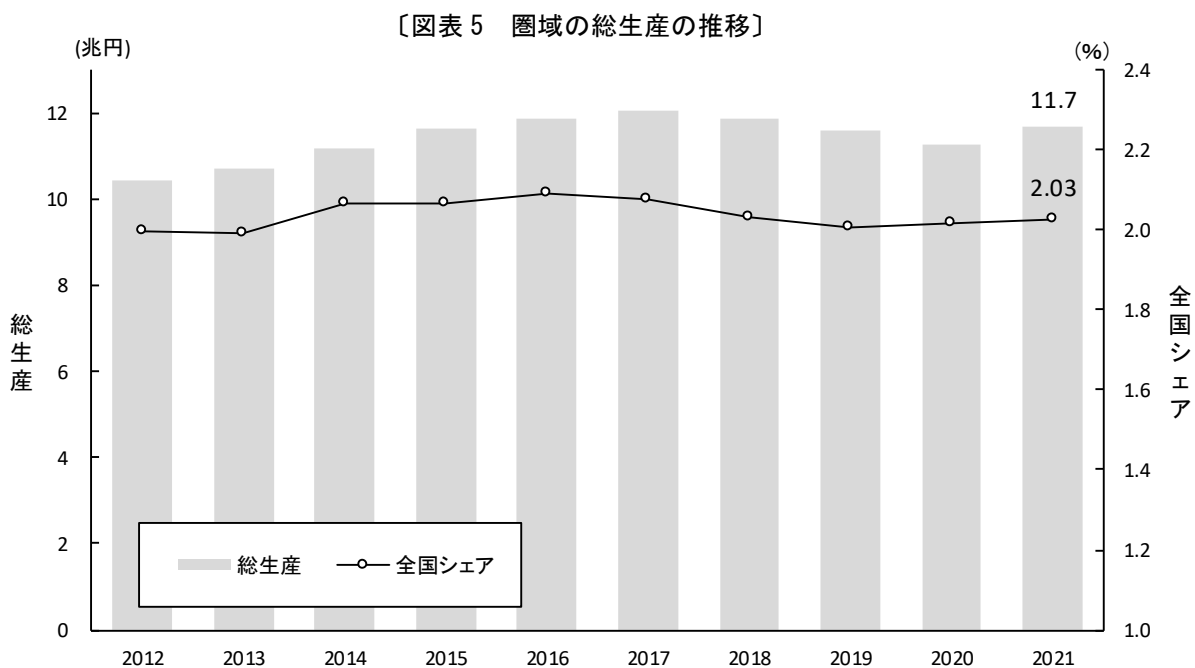
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

Ⅱ 産業構造

1 総生産

広島広域都市圏の総生産は、11 兆円前後、全国シェアは 2%程度であり、我が国の景気変動にほぼ連動して成長・縮小しています。

こうした中、全国的な人口減少が進むことにより、消費や就業者数の減少に伴う経済成長の低下が懸念されます。

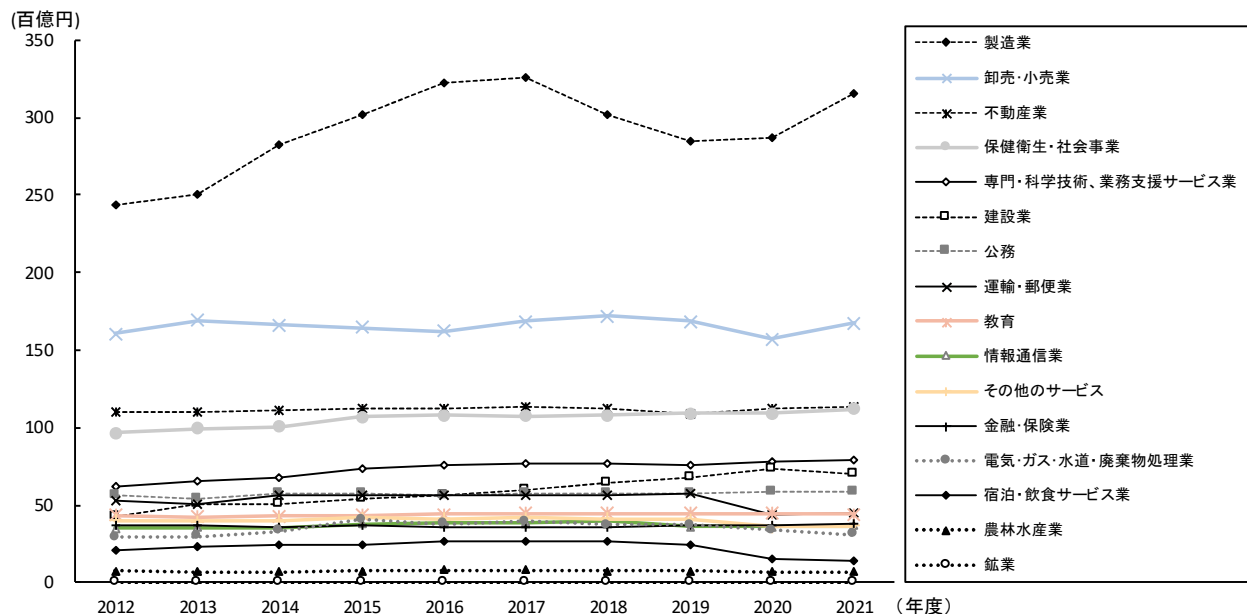


資料：内閣府「令和 3 年度県民経済計算」、広島県・山口県「令和 3 年度市町村民経済計算」、島根県「令和 3 年度市町村民経済計算」

2 経済活動別の総生産

経済活動別の総生産をみると、広島広域都市圏では製造業が主要産業となっています。

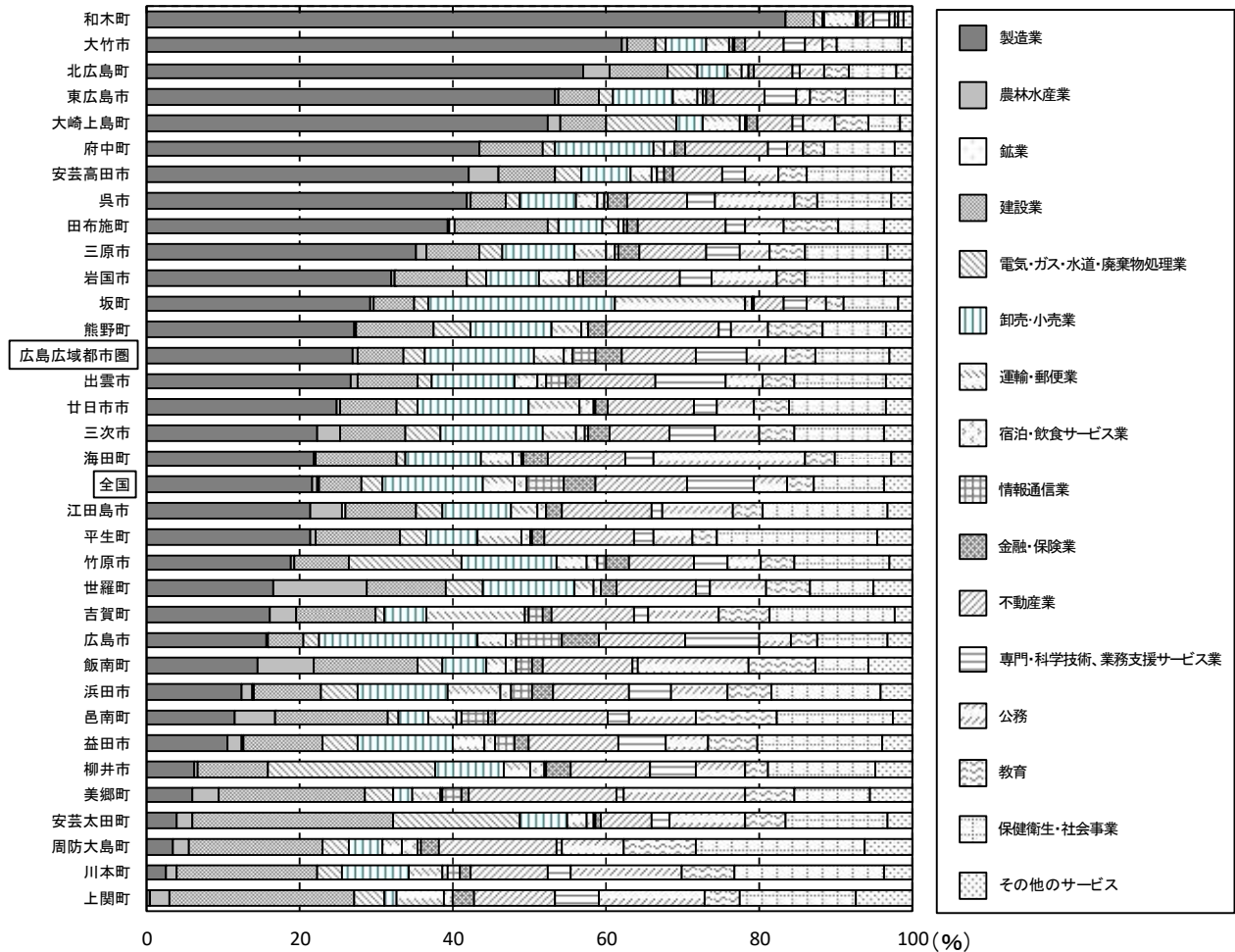
〔図表 6 圏域の経済活動別総生産の推移〕



資料：広島県・山口県「令和 3 年度市町村民経済計算」、島根県「令和 3 年度市町村民経済計算」

また、経済活動別総生産構成比から市町別の産業構造の特徴をみると、33 市町のうち 17 市町で製造業の構成比が全国を上回っており、製造業の立地に特色を有する市町が多くあります。このうち、和木町、大竹市、北広島町等で製造業の構成比が特に高くなっています。

〔図表 7 構成市町別の経済活動別総生産構成比（2021 年度）〕



注) 経済活動別付加価値の合計（圏域の総生産とは異なる）に対する構成比です。

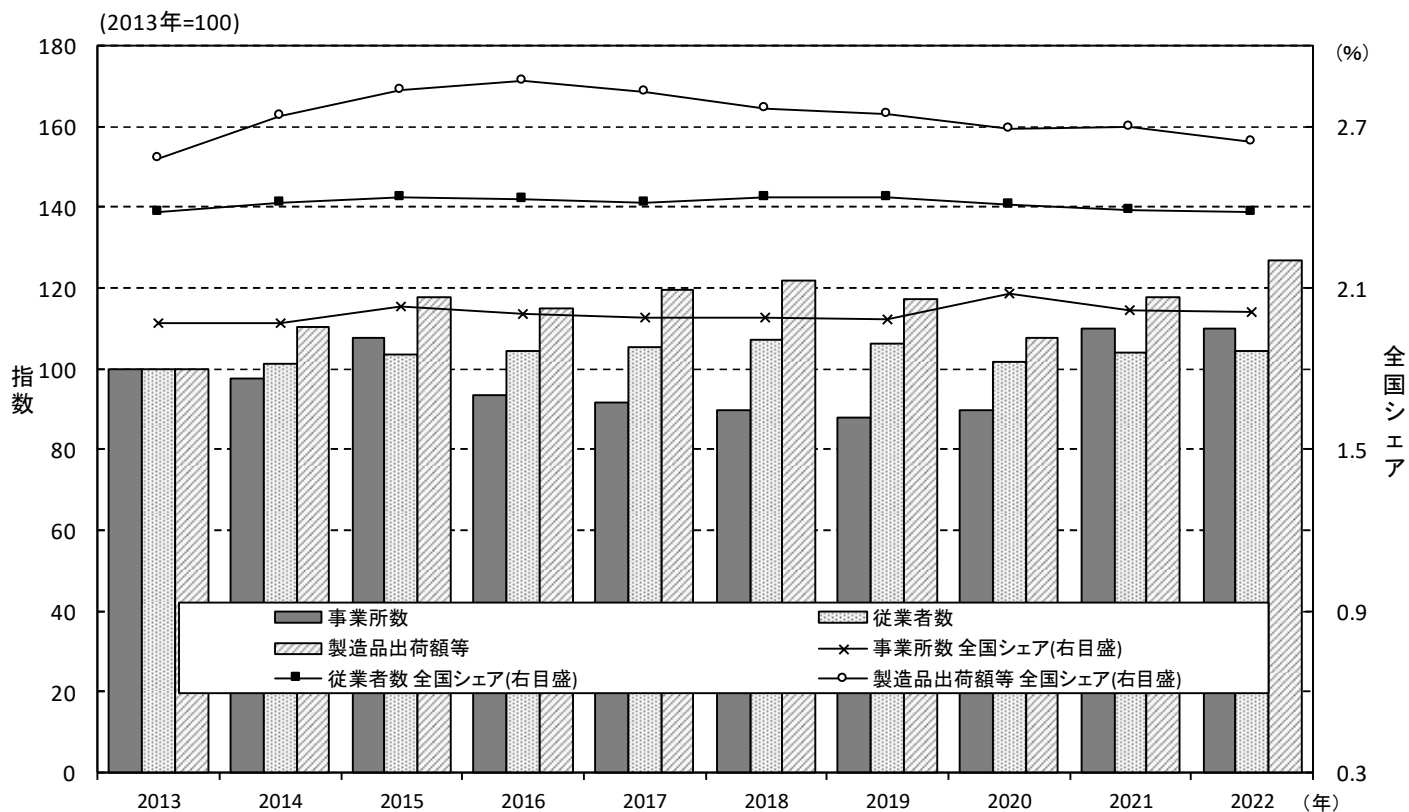
資料：内閣府「令和 3 年度県民経済計算」、広島県・山口県「令和 3 年度市町民経済計算」、島根県「令和 3 年度市町村民経済計算」

3 工業

自動車を中心とする輸送用機械器具などの加工組立型製造業から、化学、金属製品、鉄鋼などの基礎素材型産業、食料品などの生活関連型製造業まで、広島広域都市圏には、幅広い業種のメーカーが立地しています。

製造業の事業所数（従業員数4人以上）は、約4,500所、従業員数は、約18万人となっており、製造品出荷額等は、広島市が最も大きく、一方、労働生産性（従業員1人当たりの粗付加価値額）は、坂町が最も高くなっています。

〔図表8 圏域の製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移〕



注) 事業所数、従業者数と経理事項の調査時点が異なる場合の年次表記については、経理事項の年次に統一しています。

資料：経済産業省・総務省「工業統計調査」「経済構造実態調査」「経済センサス」

〔図表 9 構成市町別の製造業の事業所数・従業者数（2023 年）〕

	事業所数 (所)	従業者数 (人)	1事業所 当たり 従業者数 (人)		事業所数 (所)	従業者数 (人)	1事業所 当たり 従業者数 (人)
広島市	1,452	53,350	37	世羅町	39	719	18
呉市	512	18,566	36	岩国市	179	8,157	46
竹原市	49	1,704	35	柳井市	39	1,287	33
三原市	229	8,263	36	周防大島町	17	312	18
三次市	103	3,643	35	和木町	5	1,276	255
大竹市	51	3,701	73	上関町	3	12	4
東広島市	510	25,041	49	田布施町	45	1,397	31
廿日市市	191	7,735	40	平生町	24	785	33
安芸高田市	97	3,529	36	浜田市	107	2,565	24
江田島市	45	992	22	出雲市	301	15,219	51
府中町	34	13,001	382	益田市	86	2,387	28
海田町	75	3,655	49	飯南町	13	225	17
熊野町	103	1,748	17	川本町	8	84	11
坂町	27	461	17	美郷町	7	80	11
安芸太田町	15	223	15	邑南町	26	341	13
北広島町	78	3,444	44	吉賀町	9	460	51
大崎上島町	20	510	26				
広島広域都市圏					4,499	184,872	41

資料：経済産業省・総務省「経済構造実態調査」

〔図表 10 構成市町別の製造品出荷額等・粗付加価値額（2022 年）〕

	製造品出荷額等 (億円)	粗付加価値額 (億円)	1事業所当たり 製造品出荷額等 (億円)	従業者1人当たり 粗付加価値額 (万円)
広島市	30,906	9,084	21.3	1,703
呉市	9,825	4,507	19.2	2,427
竹原市	891	208	18.2	1,222
三原市	4,104	1,397	17.9	1,691
三次市	1,176	426	11.4	1,169
大竹市	2,635	1,009	51.7	2,725
東広島市	11,345	6,041	22.2	2,412
廿日市市	2,169	906	11.4	1,172
安芸高田市	1,183	377	12.2	1,068
江田島市	213	127	4.7	1,281
府中町	7,106	1,024	209.0	788
海田町	934	303	12.5	830
熊野町	249	99	2.4	566
坂町	1,058	336	39.2	7,290
安芸太田町	30	12	2.0	542
北広島町	1,577	720	20.2	2,091
大崎上島町	1,029	136	51.4	2,659
世羅町	127	57	3.3	789
岩国市	3,617	1,433	20.2	1,756
柳井市	332	107	8.5	829
周防大島町	34	10	2.0	335
和木町	6,648	▲ 522	1,329.6	▲ 4,093
上関町	1	0	0.2	254
田布施町	515	152	11.5	1,086
平生町	345	72	14.4	918
浜田市	764	321	7.1	1,250
出雲市	5,946	1,926	19.8	1,265
益田市	514	168	6.0	706
飯南町	98	25	7.5	1,123
川本町	9	4	1.1	439
美郷町	11	8	1.6	945
邑南町	104	42	4.0	1,236
吉賀町	153	52	17.0	1,141
広島広域都市圏	95,648	30,566	23.7	1,858

注 1) 「製造品出荷額等」とは、1 年間（1～12 月）における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額をいいます。

注 2) 単位未満は四捨五入したため、総数とその内訳の合計とは必ずしも一致しません。

資料：経済産業省・総務省「経済構造実態調査」

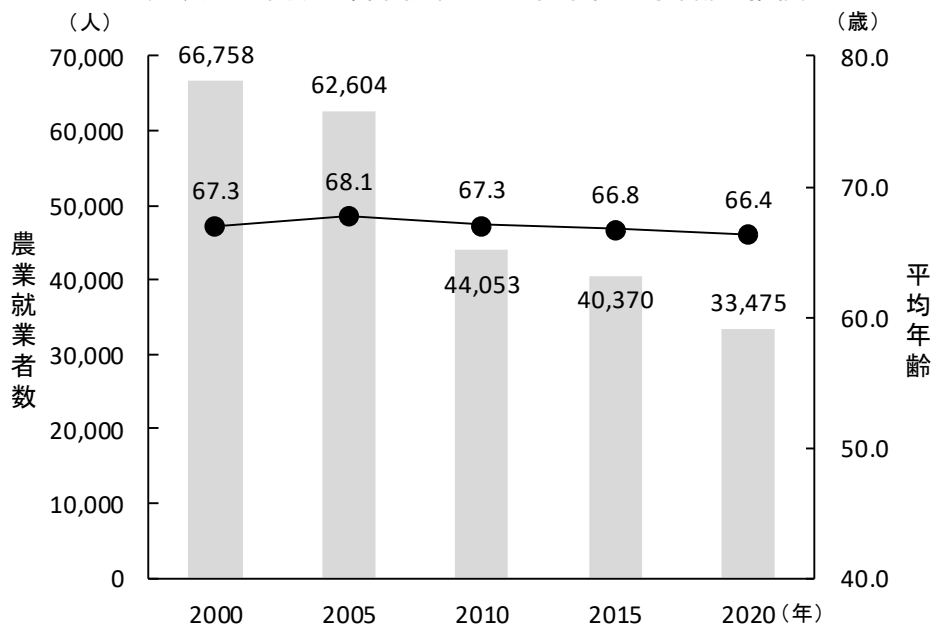
4 農林水産業

(1) 農業

就業者数が大きく減少するとともに、高齢化が顕著となっています。

圏域全体の総農家数は、約 48,000 戸、農業産出額は、約 1,200 億円となっており、農家一戸当たりの農業産出額は、世羅町が最も多く、益田市が続いています。

〔図表 11 圏域の農業就業人口・就業者平均年齢の推移〕



資料：総務省「国勢調査」

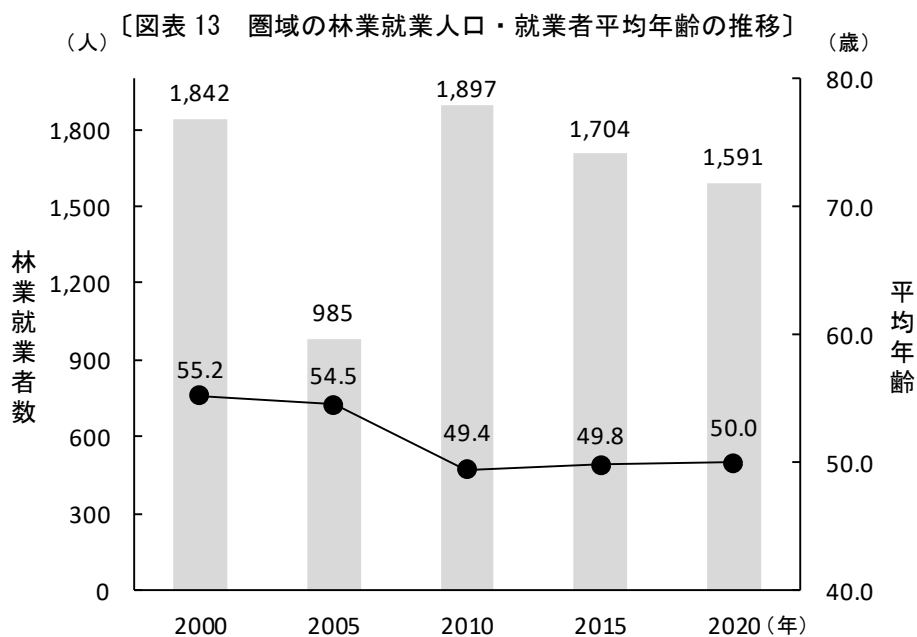
〔図表 12 構成市町別の総農家数（2020 年）・産出額（2022 年）〕

	総農家数 (戸)	農業産出額 (千万円)	農家一戸 当たり 農業産出額 (万円)		総農家数 (戸)	農業産出額 (千万円)	農家一戸 当たり 農業産出額 (万円)
広島市	5,189	628	121	世羅町	1,697	1,290	760
呉市	2,241	398	178	岩国市	3,310	490	148
竹原市	606	144	238	柳井市	1,150	143	124
三原市	2,821	965	342	周防大島町	1,018	166	163
三次市	3,238	1,383	427	和木町	16	0	0
大竹市	250	9	36	上関町	96	6	63
東広島市	5,314	878	165	田布施町	487	47	97
廿日市市	1,242	135	109	平生町	322	23	71
安芸高田市	2,514	1,046	416	浜田市	2,010	358	178
江田島市	581	88	151	出雲市	5,561	1,290	232
府中町	24	1	42	益田市	1,727	982	569
海田町	84	1	12	飯南町	507	249	491
熊野町	448	21	47	川本町	224	29	129
坂町	33	0	0	美郷町	472	67	142
安芸太田町	653	52	80	邑南町	1,405	295	210
北広島町	1,916	743	388	吉賀町	702	166	236
大崎上島町	375	116	309				
広島広域都市圏					48,233	12,209	253

資料：農林水産省「2020 年農林業センサス」、「令和 4 年市町村別農業産出額（推計）」

(2) 林業

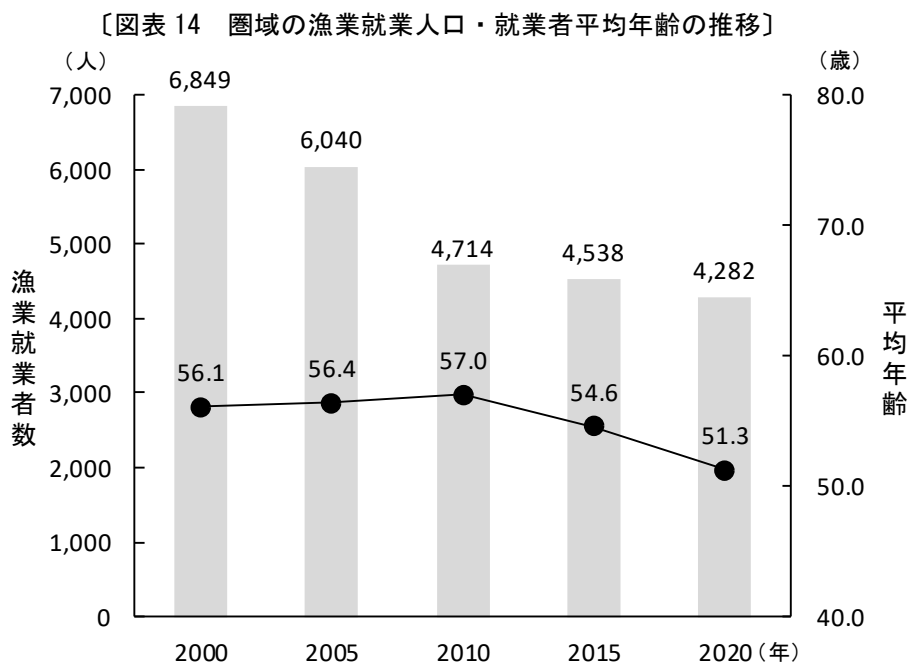
就業者数は、2010年に増加した後、2015年には減少に転じています。また、平均年齢は、2010年までは低下していたものの、2015年から上昇に転じています。



資料：総務省「国勢調査」

(3) 水産業

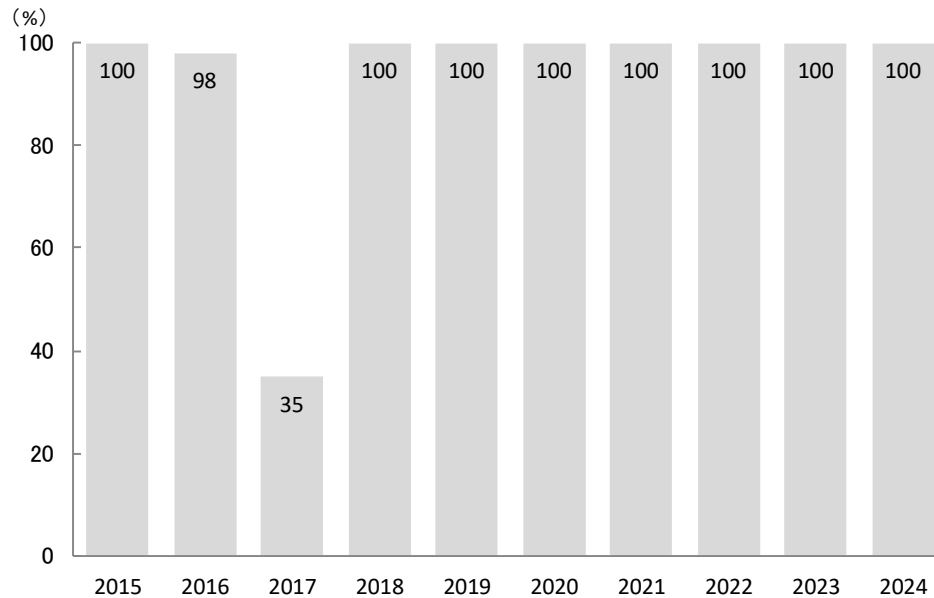
就業者数は、年々減少しています。また、平均年齢は、2010年までは上昇していたものの、2015年から低下に転じています。



資料：総務省「国勢調査」

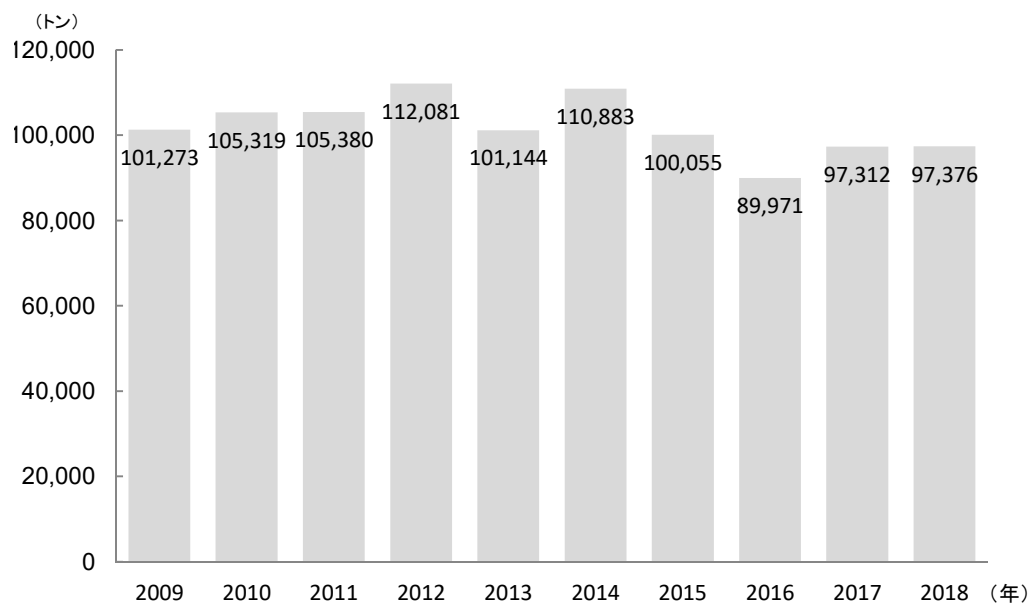
広島湾とその周辺では、かきの養殖が盛んであり、概ね毎年安定して種苗を確保できています。

〔図表 15 広島市かき養殖業者のかき採苗率〕



資料：広島市経済観光局調べ

〔図表 16 圏域のかき類収穫量（殻付き）の推移〕



注) 収穫量は秘匿を除きます。

資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

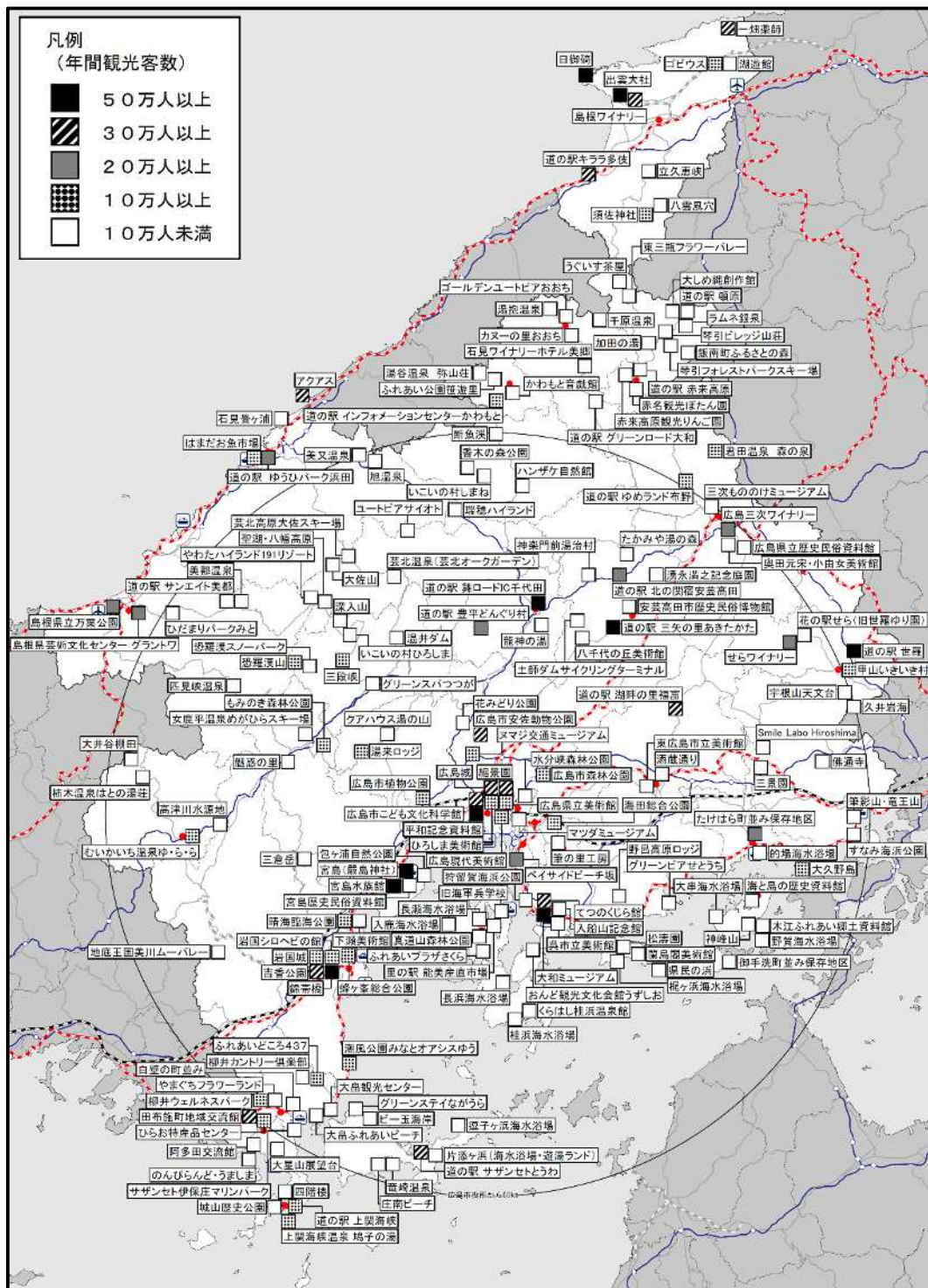
5 観光

(1) 観光資源

広島広域都市圏は、厳島神社（廿日市市）や広島平和記念資料館（広島市）、大和ミュージアム（呉市）、錦帯橋（岩国市）、アクアス（浜田市）、出雲大社（出雲市）など、毎年多くの観光客が訪れる施設等があるほか、多様な文化・スポーツ施設等を有しています。

また、その周辺には、三段峡（安芸太田町）等の自然資源、神楽門前湯治村（安芸高田市）等の伝統芸能資源、さらには、竹原市、柳井市の重要伝統的建造物群保存地区等の歴史資源等を有しています。

〔図表 17 圏域の観光資源の分布〕



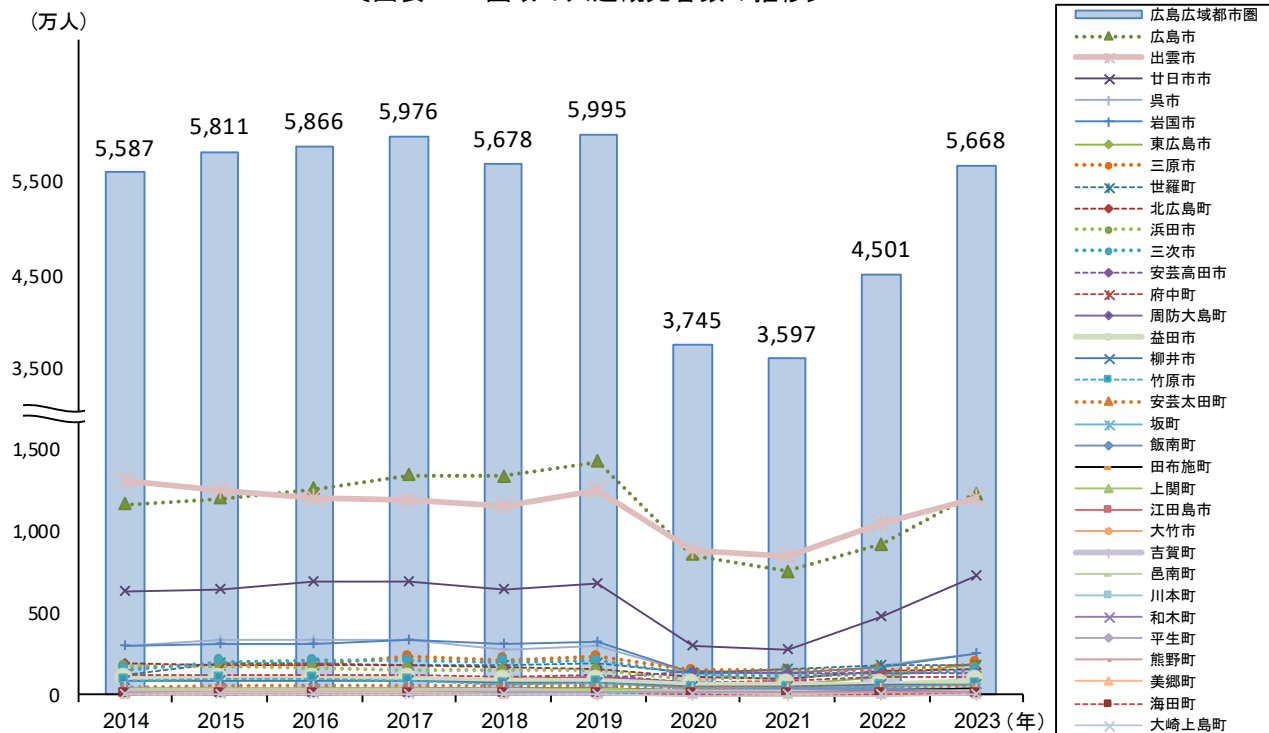
資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」、島根県「島根県観光動態調査」、各市町調べ

(2) 観光客数

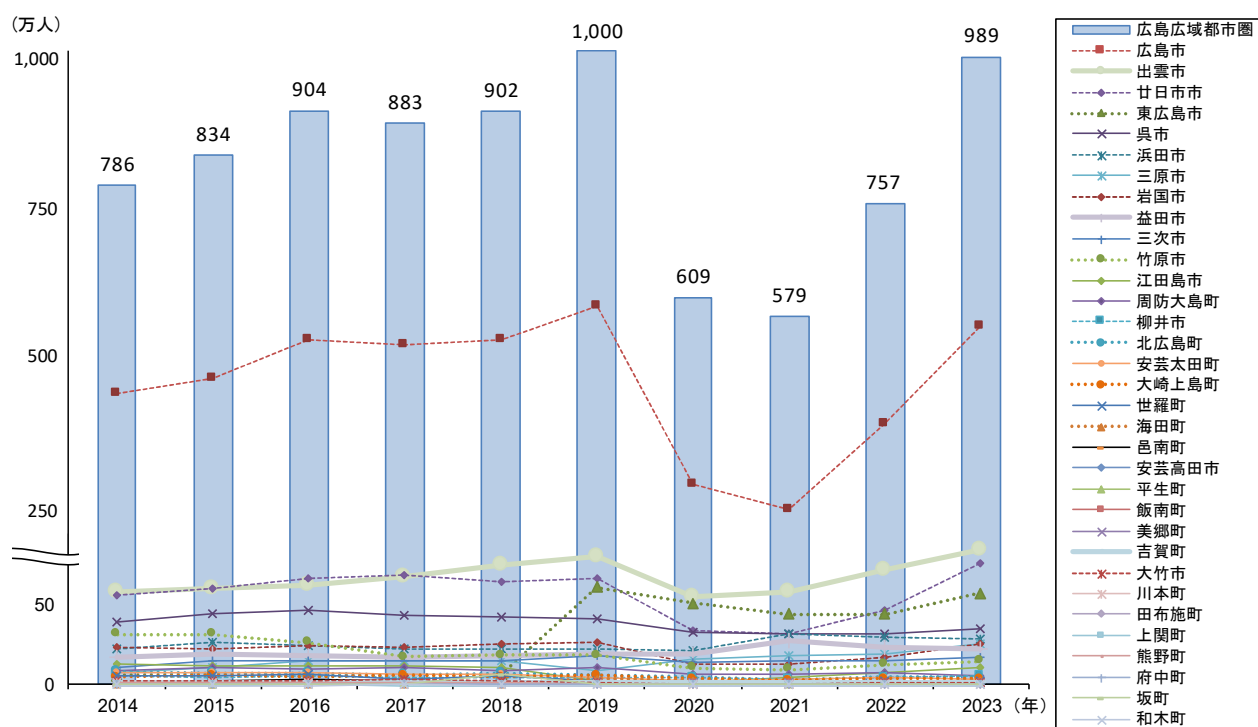
広島広域都市圏の入込観光客数は、2019 年まで増加傾向にありましたが、2020 年から新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、2022 年から再び増加に転じています。

宿泊者数は、広島広域都市圏の中では広島市の占める割合が大きく、2019 年まで増加傾向にありましたが、2020 年から新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、2022 年から再び増加に転じています。

〔図表 18 圏域の入込観光客数の推移〕



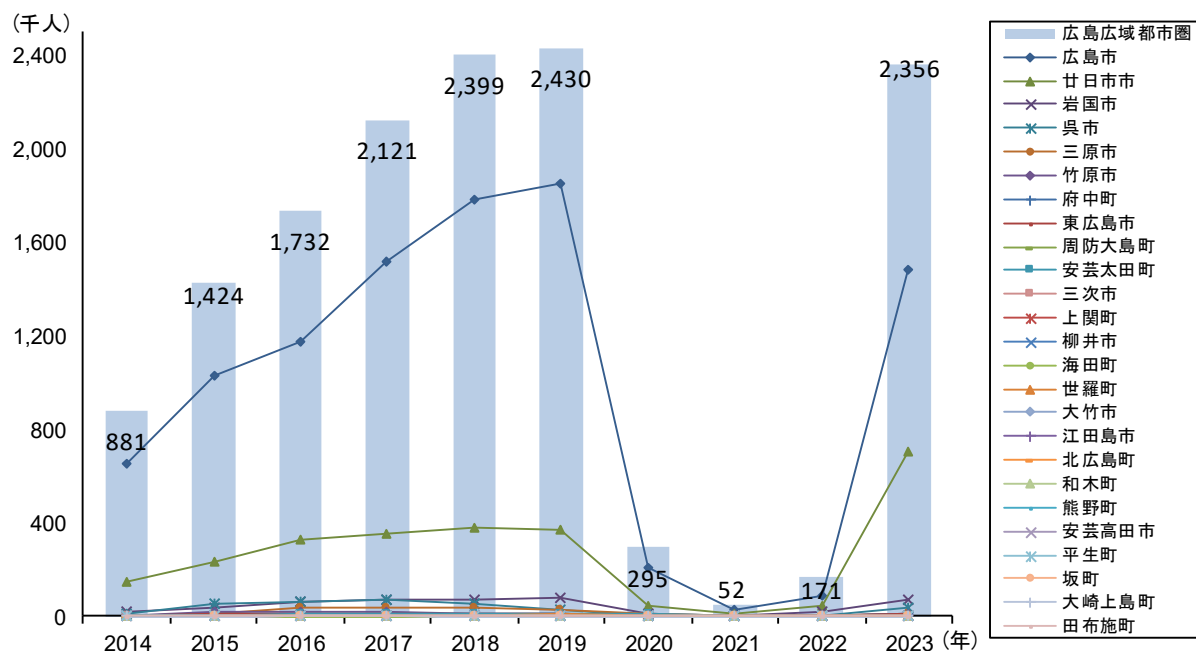
〔図表 19 圏域の宿泊者数の推移〕



(3) 外国人観光客

外国人観光客数は、広島広域都市圏の中では広島市が高い割合を占めており、2019 年まで大きく増加していましたが、2020 年から新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、2022 年から再び増加に転じています。

〔図表 20 圏域の外国人観光客数の推移〕

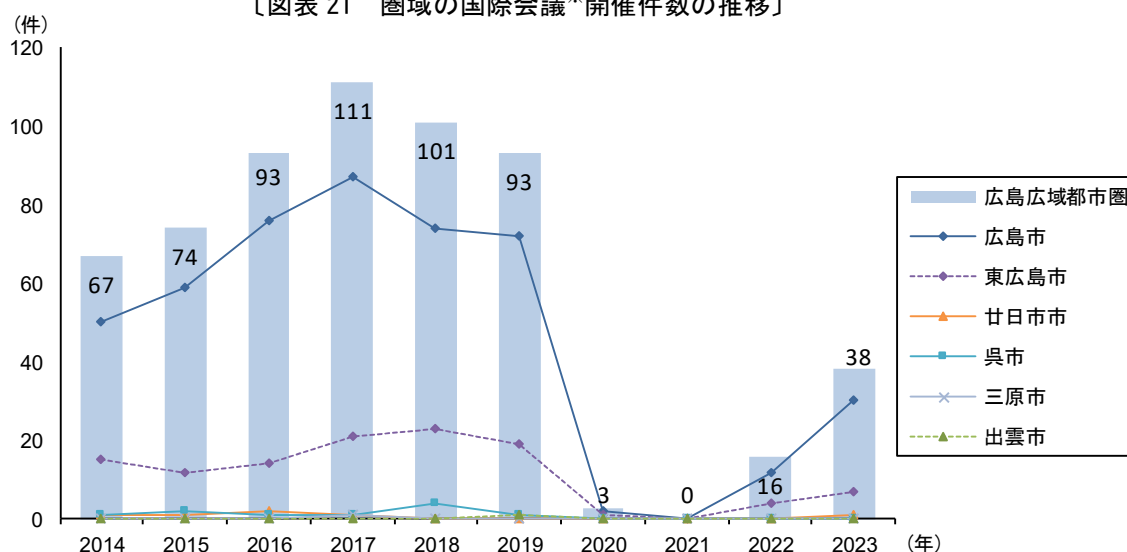


※ 島根県内の市町は数値が公表されていないため、広島広域都市圏の数値には含まれていません。
資料：広島県「広島県観光客数の動向」、山口県「山口県の宿泊者及び観光客の動向」

(4) 国際会議

広島広域都市圏で開催される国際会議件数は、2017 年まで増加傾向にありましたが、2020 年から新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少し、2022 年から再び増加に転じています。

〔図表 21 圏域の国際会議※開催件数の推移〕



※ 国際会議とは、次の各項目を全て満たすものをいいます。
・主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む。）又は国家機関・国内団体（民間企業を除く。）
・参加者総数：50 名以上
・参加国：日本を含む 3 か国以上
・開催期間：1 日以上

※ 1 つの国際会議が複数の市にまたがって開催された場合、開催件数は各市で 1 件ずつ計上しています。
資料：日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

Ⅲ 高次都市機能の集積状況

1 医療

救急搬送人員数及びそれに占める高齢者の割合が年々増加する状況にあるなど、超高齢社会の到来に伴い、今後、医療需要は更に高まっていくとともに、救急要請をためらい症状が重症化する患者も潜在的にあるものと推測されます。

また、医療従事者の不足により、二次救急に係る病院群輪番制の維持が困難な市町があり、広島市等の医療機関がその機能を補完している状況が生じています。

圏域の住民が安心して地域で生活できるよう、疾病構造の変化や医療の高度化・複雑化などに対応した、質の高い医療サービスの安定的な提供が求められています。

〔図表 22 構成市町別の医療施設数（2023 年）・医師数（2022 年）〕

二次保健 医療圏	市町名	医療施設			医師	
		病院数 (一般病院数) ※1	一般診療所数 ※2	人口千人 当たりの 医療施設数	医師数	人口千人 当たりの 医師数
広 島	広島市	73	1,206	1.1	3,922	3.3
	安芸高田市	1	28	1.1	61	2.3
	府中町	1	41	0.8	126	2.4
	海田町	2	34	1.2	38	1.2
	熊野町	－	15	0.6	17	0.7
	坂町	1	10	0.9	43	3.4
	安芸太田町	1	5	1.1	13	2.3
	北広島町	3	13	0.9	29	1.7
広島西	大竹市	3	25	1.1	98	3.8
	廿日市市	9	95	0.9	323	2.8
呉	呉市	21	209	1.1	735	3.6
	江田島市	3	18	1.0	40	1.9
広島中央	竹原市	3	22	1.1	48	2.1
	東広島市	14	133	0.8	404	2.1
	大崎上島町	－	11	1.6	7	1.0
尾 三 ※3	三原市	7	62	0.8	208	2.4
	世羅町	1	8	0.6	24	1.6
備 北 ※4	三次市	4	52	1.1	148	3.0
岩 国	岩国市	15	116	1.0	313	2.5
	和木町	－	6	1.0	7	1.2
柳 井	柳井市	3	33	1.2	102	3.4
	周防大島町	2	14	1.2	29	2.1
	上関町	－	6	2.6	2	0.9
	田布施町	－	5	0.3	7	0.5
	平生町	1	8	0.8	25	2.3
雲 南 ※5	飯南町	1	6	0.2	11	0.3
出 雲	出雲市	9	162	1.0	842	4.9
大 田 ※6	川本町	1	2	0.7	8	1.8
	美郷町	－	8	2.6	3	1.0
	邑南町	1	18	4.6	24	5.8
浜 田 ※7	浜田市	3	59	1.2	172	3.5
益 田 ※8	益田市	2	47	5.0	133	13.7
	吉賀町	1	7	1.4	11	1.9
広島広域都市圏		186	2,484	1.0	7,973	3.1

※1 一般病院とは、精神科病院及び結核療養所以外の病院をいいます。

※2 一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみを行う場所を除く。）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者 19 人以下の入院施設を有するものをいいます。

※3 尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

※4 庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

※5 雲南市及び奥出雲町は本圏域外のため、同市町在住の医療施設等を除きます。

※6 大田市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

※7 江津市は本圏域外のため、同市所在の医療施設等を除きます。

※8 津和野町は本圏域外のため、同町所在の医療機関を除きます。

資料：厚生労働省「令和 5 年医療施設（静態・動態）調査」「令和 4 年医師・歯科医師・薬剤師統計」
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

〔図表 23 圏域の救急医療体制（2024 年）〕

二次保健医療圏	市（区）町	初期救急医療機関		二次救急医療機関	三次救急医療機関		
		休日夜間急患センター等	在宅当番医制				
広島県							
広島西	大竹市	○大竹市休日診療所 ○廿日市休日夜間急患センター	大竹市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○広島総合病院 ○広島西医療センター (救急告示病院・診療所) 2医療機関	[地域救命救急センター] ○広島総合病院		
	廿日市市		佐伯地区医師会				
広島	広島市中・東・南・西・佐伯区		広島市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○舟入市民病院 ○荒木脳神経外科病院 ○一ノ瀬病院 ○いまだ病院 ○太田川病院 ○加川整形外科病院○梶川病院 ○広島記念病院 ○シムラ病院 ○広島赤十字・原爆病院 ○広島市民病院 ○土谷総合病院 ○浜脇整形外科病院 ○吉島病院 ○J R広島病院 ○広島厚生病院 ○マツダ病院 ○五日市記念病院 ○安芸市民病院 ○一陽会原田病院 ○ヒロシマ平松病院 ○県立広島病院 ○横段順記念病院 (救急告示病院・診療所) 40医療機関			
	広島市安芸区	○千田町夜間急病センター ○広島市民病院	安芸地区医師会				
	府中町	○舟入市民病院 ○安芸市民病院					
	海田町	○広島口腔保健センター					
	熊野町						
	坂町						
	広島市安佐南・安佐北区		安佐医師会			(病院群輪番制参加施設) ○安佐市民病院 ○広島共立病院 ○野村病院 ○サカ緑井病院 ○日比野病院 ○長久堂野村病院 ○山崎整形外科内科クリニック ○高陽ニュータウン病院 ○広島ハートセンター広島心臓血管病院 ○メリィホスピタル (救急告示病院・診療所) 18医療機関	[救命救急センター] ○広島市民病院 ○県立広島病院 ○呉医療センター
	安芸太田町	○可部夜間急病センター ○高田地区休日夜間救急診療所	山県郡医師会 安芸高田市医師会				
	北広島町						
	安芸高田市						
呉	呉市	○休日急患センター（内科夜間・小児夜間救急センター含む） ○呉口腔保健センター	呉市医師会 安芸地区医師会	(病院群輪番制参加施設) ○呉共済病院 ○済生会呉病院 ○中国労災病院 ○呉医療センター (救急告示病院・診療所) 13医療機関	[高度救命救急センター] ○広島大学病院 [地域救命救急センター] ○北部医療センター安佐市民病院		
	江田島市		安芸地区医師会 佐伯地区医師会				
広島中央	東広島市	○東広島市休日診療所（歯科診療含む）	東広島地区医師会 賀茂東部医師会 竹原地区医師会	(病院群輪番制参加施設) * 東広島市安芸津町を除く。 ○西条中央病院 ○本永病院 ○東広島医療センター ○井野口病院 ○八本松病院 (救急告示病院・診療所) 8医療機関			
	竹原市	○竹原市休日診療所	竹原地区医師会			(病院群輪番制参加施設) * 東広島市安芸津町を含む。 ○県立安芸津病院 ○安田病院 ○馬場病院 (救急告示病院・診療所) 4医療機関	
	大崎上島町		豊田郡医師会				
尾三※1	三原市	○三原市医師会休日夜間急患診療所	三原市医師会 世羅郡医師会	(病院群輪番制参加施設) ○興生総合病院 ○三原城町病院 ○三原赤十字病院 (救急告示病院・診療所) 5医療機関			
	世羅町		世羅郡医師会			(病院群輪番制参加施設) ○公立世羅中央病院 (救急告示病院・診療所) 1医療機関	
備北※2	三次市	○三次市休日夜間急患センター		(病院群輪番制参加施設) ○市立三次中央病院 (救急告示病院・診療所) 3医療機関			
山口県							
岩国	岩国市	○岩国市医療センター医師会病院救急センター	岩国市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○岩国医療センター ○岩国市医療センター医師会病院 (救急告示病院・診療所) 5医療機関	[救命救急センター] ○岩国医療センター		
	和木町						
柳井	柳井市			(病院群輪番制参加施設) ○周東総合病院 (救急告示病院・診療所) 3医療機関			
	上関町	○休日夜間応急診療所					
	田布施町						
	平生町						
	周防大島町		大島郡医師会				
島根県							
雲南※3	飯南町	○飯南病院		(救急告示病院・診療所) 1医療機関			
出雲	出雲市	○出雲休日・夜間診療所		(救急告示病院・診療所) 5医療機関	[救命救急センター] ○島根大学医学部附属病院 ○浜田医療センター [高度救命救急センター] ○島根県立中央病院		
大田※4	川本町			(病院群輪番制参加施設) ○公立邑智病院 (救急告示病院・診療所) 1医療機関			
	美郷町	○公立邑智病院	邑智郡医師会				
	邑南町						
浜田※5	浜田市	○浜田市休日応急診療所		(病院群輪番制参加施設) ○浜田医療センター (救急告示病院・診療所) 1医療機関			
益田※6	益田市		益田市医師会	(病院群輪番制参加施設) ○益田赤十字病院 ○益田地域医療センター医師会病院 (救急告示病院・診療所) 2医療機関			
	吉賀町	○益田市休日応急診療所					

- ※1 尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。
 ※2 庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。
 ※3 雲南市及び奥出雲町は本圏域外のため、同市町所在の医療機関を除きます。
 ※4 大田市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。
 ※5 江津市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。
 ※6 津和野町は本圏域外のため、同町所在の医療機関を除きます。

資料：各市町調べ（2024 年 4 月現在）

〔図表 24 圏域の拠点病院等の状況（2024 年）〕

二次保健 医療圏	圏域内市町	医療機関	小児救急 医療拠点 病院 (△は二次 救急輪番)	周産期 母子医療 センター (○は地域、 ◎は総合)	がん診療 連携拠点 病院 (○は国、 △は県が指定)	災害拠点 病院 (◎は基幹災害 拠点病院)	へき地 医療拠点 病院
広島県							
広島	広島市 安芸高田市 府中町 海田町 熊野町 坂町 安芸太田町 北広島町	広島市民病院		◎	○	○	
		広島大学病院		○	○	○	
		広島赤十字 ・原爆病院			○	○	
		県立広島病院		◎	○	◎	○
		安佐市民病院			○	○	○
		吉田総合病院					○
		安芸太田病院					○
		舟入市民病院	○				
		土谷総合病院		○			
		広島共立病院				○	
広島西	大竹市 廿日市市	広島西 医療センター				○	○
		広島総合病院			○	○	○
呉	呉市 江田島市	中国労災病院	△	○		○	
		呉共済病院			△	○	
		呉医療センター	△	○	○	○	
広島中央	竹原市 東広島市 大崎上島町	東広島 医療センター		○	○	○	
尾三	三原市 世羅町 (尾道市※1)	興生総合病院				○	
		三原赤十字病院				○	
備北	三次市 (庄原市※2)	市立三次 中央病院	○	○	○	○	○
山口県							
岩国	岩国市 和木町	岩国 医療センター	○	○	○	○	○
		岩国市 医療センター 医師会病院				○	
柳井	柳井市 周防大島町 上関町 田布施町 平生町	周東総合病院			○	○	○
島根県							
雲南	飯南町 (雲南市、奥出雲 町※3)	飯南病院					○
出雲	出雲市	島根県立 中央病院	△	○	○	◎	○
		島根大学 医学部附属病院	△	◎	○	○	○
		出雲市立総合 医療センター	△				○
大田	美郷町 邑南町 川本町 (大田市※4)	公立邑智病院					○
		加藤病院					○
浜田	浜田市 (江津市※5)	浜田 医療センター			○	○	○
益田	益田市 吉賀町 (津和野町※6)	益田赤十字病院		○	△	○	○
		益田地域 医療センター 医師会病院					○

※1 尾道市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※2 庄原市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※3 雲南市及び奥出雲町は本圏域外のため、同市町所在の医療機関を除きます。

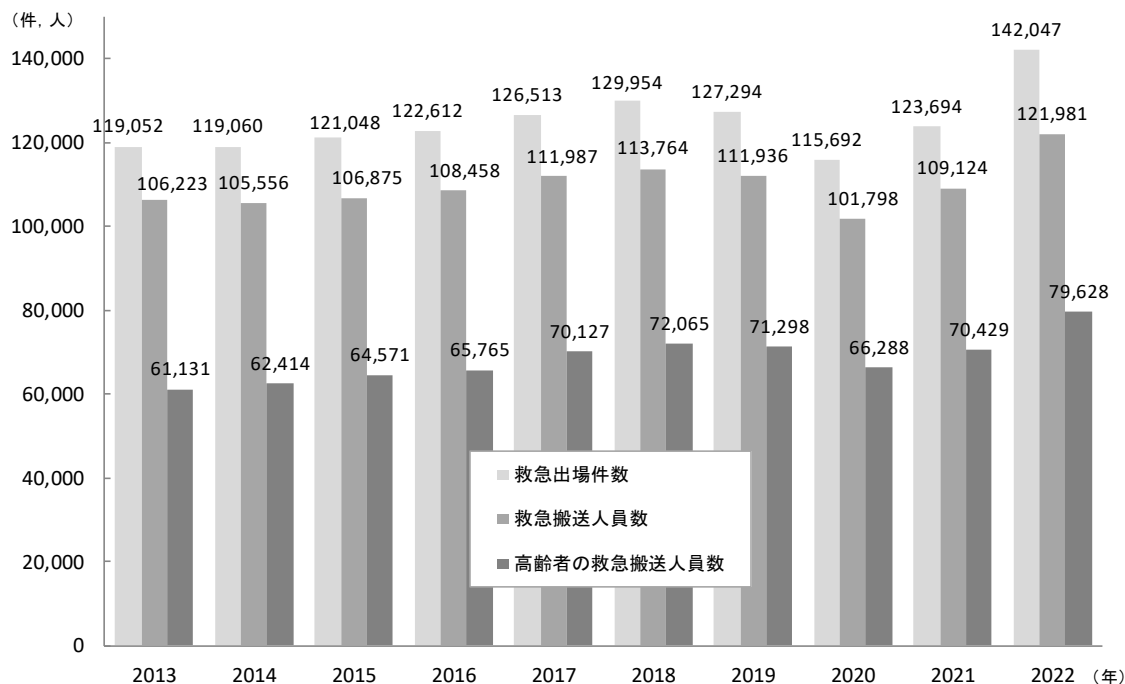
※4 大田市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※5 江津市は本圏域外のため、同市所在の医療機関を除きます。

※6 津和野町は本圏域外のため、同町所在の医療機関を除きます。

資料：各市町調べ（2024 年 4 月現在）

〔図表 25 圏域の救急出場件数及び救急搬送人員数の推移〕



資料：広島県・山口県「消防防災年報」、三次市・田布施町・島根県各市町調べ

〔図表 26 圏域の救急業務の実施体制及び救急出場件数・救急搬送人員数（2022 年）〕

		(単位：件、人)		
消防本部		救急出場件数	救急搬送人員数	高齢者の 救急搬送人員数
	委託市町			
広島市	海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和地区	69,686	57,710	34,364
呉市	—	11,544	9,794	7,232
三原市	世羅町	5,621	5,050	3,749
大竹市	—	1,474	1,232	869
東広島市	竹原市、大崎上島町	10,894	9,559	5,682
廿日市市	吉和地区を除く。	5,786	4,911	3,156
安芸高田市	—	1,527	1,425	1,041
江田島市	—	1,692	1,581	1,275
府中町	—	2,672	2,272	1,331
北広島町	—	1,043	945	681
浜田市	—	3,054	2,830	2,156
出雲市	—	7,281	6,829	4,725
一部事務組合・広域連合		救急出場件数	救急搬送人員数	高齢者の 救急搬送人員数
組合構成市町				
備北地区消防組合	三次市（庄原市※1）	2,781	2,635	1,948
柳井地区広域消防組合	柳井市、周防大島町、上関町、平生町	3,825	3,420	2,714
光地区消防組合	田布施町（光市、周南市※2）	587	522	371
岩国地区消防組合	岩国市、和木町	7,908	6,814	4,860
益田地区広域市町村圏事務組合	益田市、吉賀町（津和野町※3）	3,092	2,925	2,256
江津邑智消防組合	川本町、美郷町、邑南町（江津市※4）	1,276	1,235	1,005
雲南広域連合	飯南町（雲南市、奥出雲町※5）	304	292	213
広島広域都市圏		142,047	121,981	79,628

※1 庄原市は本圏域外のため、三次市の数値のみ掲載しています。

※2 光市及び周南市は本圏域外のため、田布施町の数値のみ掲載しています。

※3 津和野町は本圏域外のため、益田市及び吉賀町の数値のみ掲載しています。

※4 江津市は本圏域外のため、川本町、美郷町及び邑南町の合計値のみ掲載しています。

※5 雲南市及び奥出雲町は本圏域外のため、飯南町の数値のみ掲載しています。

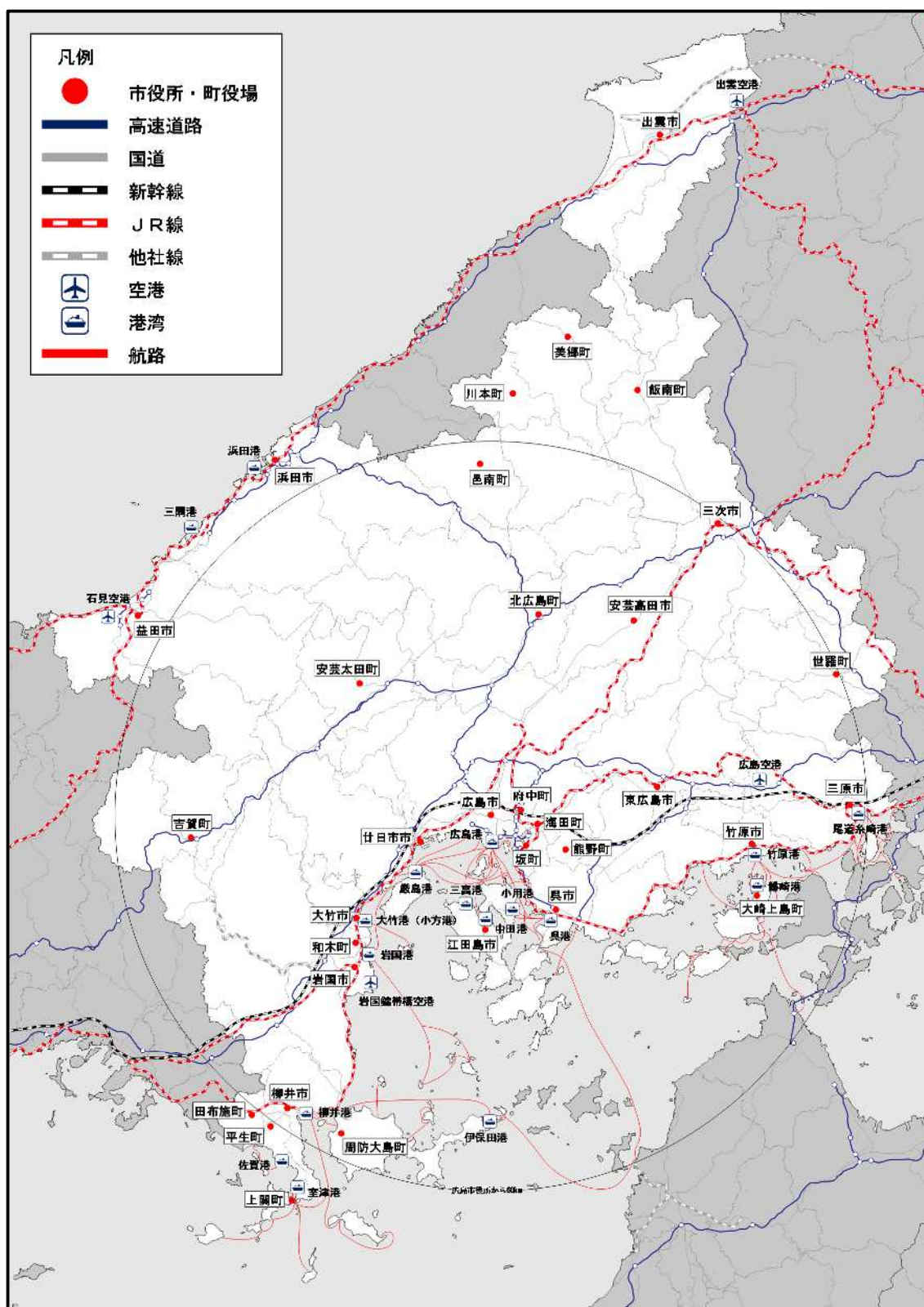
資料：広島県・山口県「消防防災年報」、三次市・田布施町・島根県各市町調べ

2 広域的な公共交通網等

活力ある圏域を形成するためには、地域の資源を圏域全体で活用していくことが重要であり、医療機関や教育施設などが利用しやすい環境を整えるとともに、圏域にわたるヒト・モノ・カネ・情報の循環を生み出す必要があります。

鉄道、航路を始めとする公共交通や高速道路などによる圏域内の多様な広域交通網の構築に向け、圏域内の市町と連携しながら公共交通網等の充実・強化を図る取組が求められています。

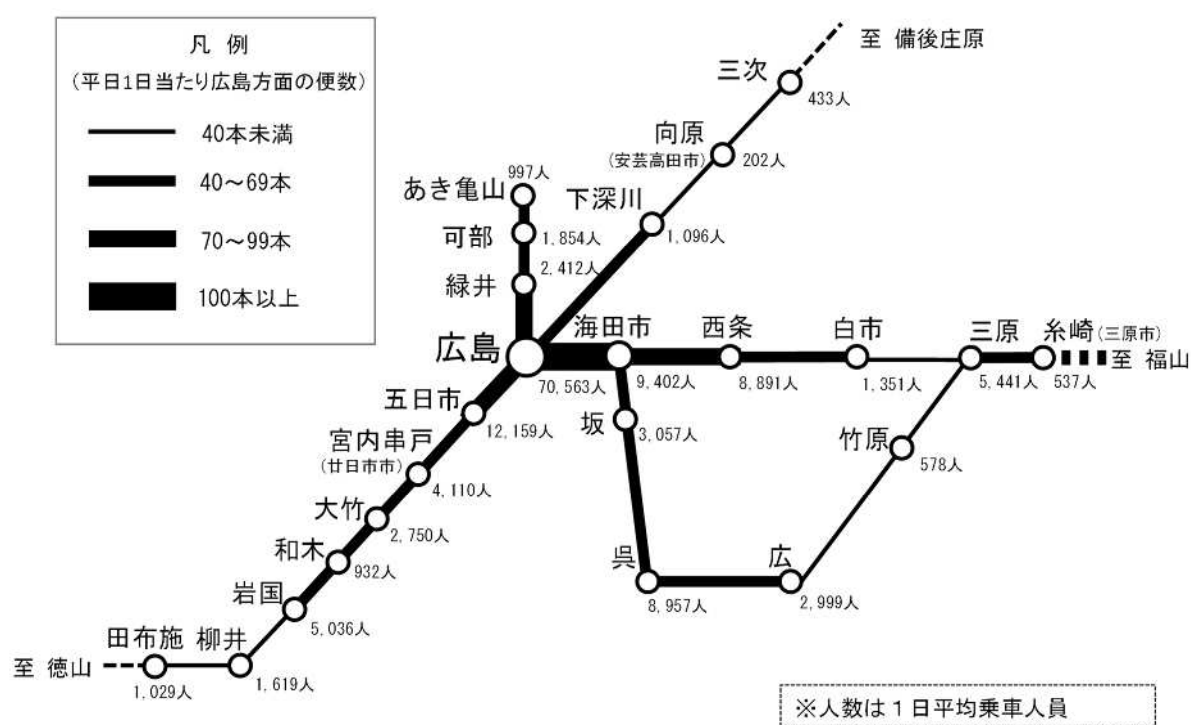
〔図表 27 圏域の交通ネットワーク〕



(1) 鉄軌道

広島広域都市圏には、ＪＲや広電宮島線、錦川鉄道、一畑電車、アストラムライン、路面電車といった鉄軌道系の公共交通が整備されています。特に、ＪＲの広島駅～岩国駅（岩国市）間や広島駅～白市駅（東広島市）間、広島駅～広島駅（呉市）間、広電宮島線の全区間では多頻度運行が行われておりサービスレベルが高くなっています。

〔図表 28 圏域の鉄道ネットワーク・ＪＲ主要駅別 1 日平均乗車人員数（2023 年度）〕



資料：広島市道路交通局調べ

〔図表 29 圏域の交通機関別 1 日平均乗車人員数（2023 年度）〕

(単位：人)	
交通機関	1日平均乗車人員数
広島電鉄 市内線（路面電車）	88,284
アストラムライン	63,782
広島電鉄 宮島線	41,551
一畑電車（※）	3,651
錦川鉄道 錦川清流線	357

※ 一畑電車には、本圏域外の松江市の数値が含まれています。

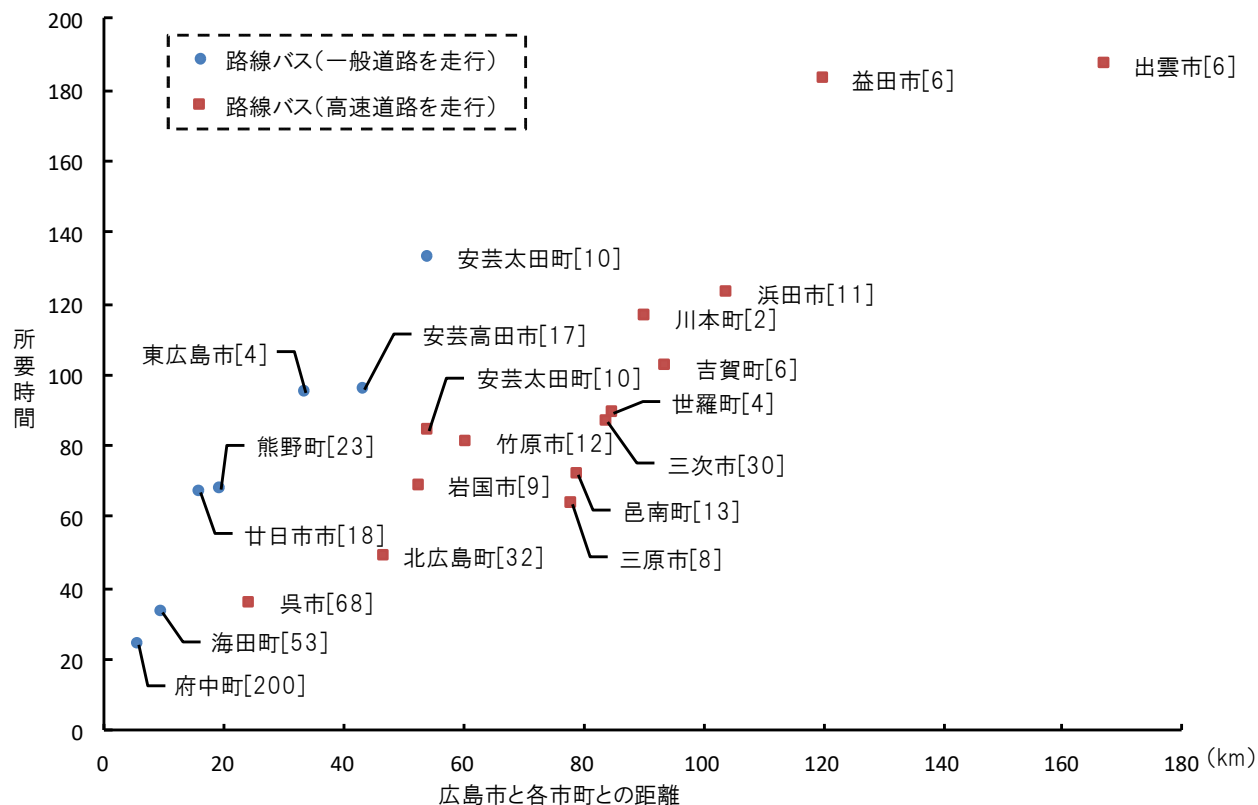
資料：広島市道路交通局・岩国市・出雲市調べ

(2) 路線バス

広島広域都市圏では、バスも都市間交通の重要な役割を担っています。特に、高速バスは広島市を中心に多くの市町へ運行しており、重要な広域移動手段となっています。

〔図表 30 広島市と構成市町間の路線バスによる所要時間及び路線バスの便数（2024 年 12 月現在）〕

(分)



注 1) ■ は、路線バスのうち高速道路を走行するものです。

注 2) 市町間の距離は、各市町中心部（市役所、町役場周辺）から広島市中心部（広島市役所、広島バスセンター、広島県庁）までの運行距離としています。

注 3) [] 内は各市町中心部から広島市中心部への路線バスの便数です。ただし、三原市は三原久井 I C まで、廿日市市は四季が丘・阿品台まで、邑南町は瑞穂 I C・田所までの便数としています。

資料：各社ホームページ掲載の時刻表

(3) 航路

江田島市や大崎上島町といった島しょ部の自治体や、宮島（廿日市市）や阿多田島（大竹市）、平郡島（柳井市）などにおいては、日常の生活交通として、航路が重要な役割を担っています。

〔図表 31 圏域の主要港湾別主な行先・船舶乗降人員数（2022 年）〕

(単位：人)			
港 湾	所在地	主な行先（圏域内）	船舶乗降 人員数※1
広島港	広島市	江田島、能美島（江田島市）、呉（至 松山）、 宮島（廿日市市）	1,423,731
呉港	呉市	広島（自 松山）、江田島	506,207
竹原港	竹原市	大崎上島、契島（大崎上島町）、大崎下島（呉市）	571,425
尾道糸崎港 （三原内港）	三原市 （尾道市・福山市※2）	佐木島（三原市）	379,957
大竹港（小方港）	大竹市	阿多田島（大竹市）	59,524
厳島港	廿日市市	宮島⇄宮島口、広島	5,719,805
小用港	江田島市	広島、呉	1,072,944
中田港	江田島市	広島	343,046
鯉崎港	大崎上島町	竹原、大崎下島	547,956
岩国港	岩国市	黒島・端島・柱島（岩国市）	12,292
柳井港	柳井市	屋代島（周防大島町/至 松山）、 平郡島（柳井市）、祝島（上関町）	87,657
伊保田港	周防大島町	柳井（至 松山）	7,504
室津港	上関町	柳井、祝島・八島（上関町）	14,598
佐賀港 ※3	平生町	馬島（田布施町）、佐合島（平生町）	19,763

※1 船舶乗降人員数は、港湾区域全体の数値です。

※2 尾道糸崎港は3市にまたがっています。

※3 佐賀港の船舶乗降人員数は佐賀港（平生町）及び尾津港（田布施町）を合わせた数値です。

資料：国土交通省「港湾統計（年報）」、田布施町・平生町調べ

(4) 空港

圏域内には、広島空港、岩国錦帯橋空港、出雲空港及び石見空港があり、国内線及び国際線の定期便又はチャーター便により国内外の各都市を結び、圏域外との交通を担っています。

〔図表 32 圏域の空港別搭乗者数（2023 年度）〕

(単位：人)			
空港	路線	搭乗者数	搭乗者数（計）
広島空港	東京（羽田）	1,875,363	2,517,026
	東京（成田）	209,620	
	国内 路線	札幌（新千歳）	
		193,141	
		仙台	
		115,080	
		沖縄（那覇）	168,663
		119,819	
	その他	4,003	
岩国錦帯橋空港	ソウル	88,446	474,004
	大連・北京	8,418	
	国際 路線	上海	
		13,011	
		台北	
		58,243	
	その他	545	999,598
	国内 路線	東京（羽田）	
		389,974	
出雲空港		沖縄（那覇）	
		84,030	
		東京（羽田）	999,598
		587,786	
		大阪（伊丹）	
		171,100	
		福岡	
		50,690	
	国内 路線	札幌（新千歳）	130,884
		5,403	
石見空港		仙台	
		33,690	
		静岡	
		33,842	
		名古屋（小牧）	
		92,360	
		名古屋（中部）	
		134	
		隠岐	
		24,593	
	国内 路線	東京（羽田）	130,884
		130,447	
		大阪（伊丹）	
		437	

資料：広島県「令和5年度広島空港の利用状況について」、
山口県「令和5年度における県内空港の利用状況について」、
島根県「島根県内空港の利用状況（年度別利用状況）」

3 高等教育

圏域内には 19 大学、5 短期大学及び 3 高等専門学校があり、約 57,000 人の学生が学んでいます。

〔図表 33 大学（大学院）・短期大学・高等専門学校別の学生数（2024 年）〕

（単位：人）

学 校 名	所在地	学 生 数		
		大 学 (高専は本科)	大学院 (高専は専攻科)	合 計
国公立大学				
広島大学	東広島市 広島市	10,645	4,631	15,276
県立広島大学 ※1	広島市 三原市	1,662	167	1,829
観啓大学	広島市	340	－	340
広島市立大学	広島市	1,749	309	2,058
島根大学 ※2	出雲市	922	197	1,119
島根県立大学 ※3	浜田市 出雲市	1,491	39	1,530
私立大学				
広島修道大学	広島市	6,223	57	6,280
安田女子大学	広島市	5,311	35	5,346
広島工業大学	広島市	4,215	126	4,341
広島国際大学	東広島市 呉市	3,983	48	4,031
広島経済大学	広島市	3,037	16	3,053
近畿大学（工学部）	東広島市	2,288	102	2,390
比治山大学	広島市	1,289	12	1,301
広島文教大学	広島市	1,391	8	1,399
広島文化学園大学	呉市 坂町 広島市	1,240	20	1,260
広島女学院大学	広島市	778	4	782
広島都市学園大学	広島市	845	2	847
日本赤十字広島看護大学	廿日市市	530	30	560
エリザベト音楽大学	広島市	206	34	240
短期大学				
比治山大学短期大学部	広島市	336	－	336
広島文化学園短期大学	広島市	333	－	333
安田女子短期大学	広島市	193	－	193
山陽女子短期大学	廿日市市	209	－	209
岩国短期大学	岩国市	98	－	98
高等専門学校				
呉工業高等専門学校	呉市	839	70	909
広島商船高等専門学校	大崎上島町	674	13	687
大島商船高等専門学校	周防大島町	640	24	664
広島広域都市圏		51,467	5,944	57,411

※1 庄原市は本圏域外のため、県立広島大学庄原キャンパスの学生数を除きます。

※2 松江市は本圏域外のため、島根大学松江キャンパスの学生数を除きます。

※3 松江市は本圏域外のため、島根県立大学松江キャンパスの学生数を除きます。

資料：大学ポートレート（大学・短期大学の教育情報公表ウェブサイト）、
国立高等専門学校機構及び各学校ホームページ

登 録 番 号	広 C 1－2 0 2 4－4 2 2
名 称	第 2 期広島広域都市圏発展ビジョン《資料編》 (2025 年 3 月改訂)
主 管 課 所 在 地	広島市企画総務局政策企画部広域都市圏推進課 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号 TEL 082-504-2017
発 行 年 月	2025 年 3 月